

運営委員に委嘱状を交付

只見町ブナセンター運営委員会

5月7日に、ただみ・ブナと川のミュージアムで、只見町ブナセンター運営委員会が行われました。

はじめに、河野昭一ブナセンター館長のあいさつがあり、続いて久保副町長より運営委員へ委嘱状が手渡されました。その後、会長と副会長が選出され、会長に目黒邦友さん（只見）、

副会長に古川勝久さん（長浜）が選ばれました。次に、平成21年度の事業報告が行われ、続いての平成22年度事業計画では毎月行われる只見の自然講座や年4回開かれる自然観察会などの内容について協議され年間計画が承認されました。今後も、ブナを核とした各種活動を行っていきます。



▶委嘱状を受ける竹内学関東森林管理局会津森林管理署南会津支署長



▲あいさつをする河野ブナセンター館長



～学年を問わず楽しく交流～

各地区こども教室スタート



めい わ



▽めいわこども教室  
毎週火曜日  
午後3時～午後5時



た だ み

▽ただみこども教室  
毎週月曜日  
午後3時～午後5時

あ さ ひ



町内の小学生が有意義な放課後を過ごせるよう、各地区で「こども教室」が今年度もスタートしました。只見では5月10日に、明和では11日に、朝日では13日に、各地区センターを会場に開校式が行われました。

開校式では、参加児童とスタッフの顔合わせが行われ、自己紹介も元気にはつきりとできました。初めて参加した1年生も最初は緊張の面持ちでしたが、次第に慣れみんなと仲良く活動していました。今後は様々なイベントを企画、取り入れながら楽しく充実した時間を児童と過ごせるよう活動していきます。

こども教室の実施日は次のとおりです。



▲再開通を祝いテープカットする関係者

## 加賀美幸子アナウンサー 朗読&講演会

ただみ・ブナと川のミュージアム再オープン記念事業として、元NHKアナウンサーの加賀美幸子さんによる朗読&講演会が5月16日に、町下町民体育館で行われ、約200名が聴講しました。第1部では、只見町在住の石津伸介さんが作られたオリジナル物語「森男と夢の木」を朗読、入場者は物語の世界に引き込まれている様子でした。

第2部は「ここを動かす言葉」と題し講演され、言葉が人に与える無限の力などについて経験談も交え分かりやすく丁寧な言葉で話されました。

加賀美幸子さんは現在もアナウンサーとして活躍。また、ただみ・ブナと川のミュージアムの館内ナレーターも担当されています。



▲「森男と夢の木」を朗読する加賀美アナウンサー

快晴という絶好の天候のなか、新潟県魚沼市の道の駅「いりひろせ」を会場に、5月8日、国道252号六十里越雪わり街道再開通式が行われました。主催者を代表し魚沼市六十里越雪わり街道を愛する会の大塚桂三会長があいさつを述べ、続いての祝辞で目黒町長は「この街道の繋がりによって新潟県ともしっかりと深い絆を築き、それぞれの地域にある価値をPRしながら

ら、さらなる交流の発展を祈念します」と述べました。その後、関係者によるテープカットが華やかに行われ、只見町からも目黒町長や五十嵐拓議会議長などが参列しました。会場では、魚沼市の郷土芸能「鬼面獅子山太鼓」の披露や特産品などが当たる抽選会も行われ、観光客などでにぎわっていました。このイベントは、9日も行われました。

5月9日、非常時の消防活動を迅速に行うことを目的に、只見町消防団の非常招集訓練が行われました。午前5時30分のサイレン広報で町内すべての分団に出勤要請が出され、出火場所に想定された町下運動広場に集合しました。今回の訓練には団員98名、ポンプ車3台、消防積載車9台、消防軽トラ3台が出勤しました。訓練会場では到着順に水利から火点までのホースの連結作業と同時にポンプ操作を行

い、伝令とともに放水され、一連の消火訓練が円滑に行われました。訓練終了後、鈴木好行消防団長から「火災の時は、いち早く的確な判断と対応が求められます。初期消火、人命救助の重要性を再認識され、予防消防と日ごろの訓練に努められるよう、お願いします」と訓示がありました。出動した消防団員は機械器具の操作などを再確認されていました。



▲非常時を想定し訓練をする消防団員

地域交流のさらなる発展を願う

## 国道252号六十里越雪わり 街道再開通式

## 消防団非常招集訓練

迅速な消火活動と意識高揚を

## 青空のもと気合の入った応援合戦 小学校春季大運動会

▼明和小学校



▲只見小学校

さわやかな春の青空が広がるなか、5月15日に明和小学校で、22日に朝日小学校で、29日には只見小学校で、運動会が行われました。

今年は全小学校ともに晴天となり、会場には大勢の保護者や家族の方が詰めかけ、児童の熱戦に大きな声で応援したり、ビデオカメラを向け一生懸命に撮影するお父さんの姿が多く、児童の応援の声も一緒になり、どの運動会も最高の盛り上がりを見せました。

只見小学校の栗木孝直教頭先生は、閉会式の講評で「今まで積み重ねてきた練習の日々が大切。雨の日も寒い日も頑張っ毎練習してきた自分に拍手してください。集団行動のルールを覚えたり、体力もつきました。みんなで頑張ったすばらしい運動会でした」と述べました。各小学校ともに感動を与える運動会でした。



▲朝日小学校

## 新緑のなか春の臨時列車運行

# 『風っこ会津只見号』 『SL 会津只見新緑号』



5月のさわやかな青空とまぶしい新緑のなか、今年も満員列車が只見駅に到着しました。

1日から5日の五日間運行されたのは、レトロな客席が特徴の「風っこ会津只見号」、そして、22日と23日の二日間運行されたのは、C11型蒸気機関車の「SL 会津只見新緑号」で、今年も満員の大人気列車となりました。

只見駅では、列車をバックに記念撮影する人や駅前広場の特設テントで行われた物産販売で山菜などを買い求めたり、お昼を食べたりする人など、思い思いの時間を過ごし、只見の春を満喫していました。また、SLが到着した日は、かわいらしい3人の一日駅長が笑顔で「いらっしやいませ」と歓迎の言葉をかけ、乗客を迎えていました。

この企画は秋にも行われる予定ですが只見線の活性化には欠かせないイベントとなりました。



▲5月22日

わかばやし ゆうさん(右)  
うのこ はるさん(中)  
さつひろ たかくん(左)



▲5月23日

さばき  
さいばつ  
だいこう はるかさん  
いすけいくん(右)  
くん(中)  
くん(左)